

令和6年度第3回健康づくり推進協議会議事録（要旨）

1. 日時

令和7年2月19日（水）午後1時30分～3時

2. 場所

合志市防災センター 避難所1

3. 出席者

委員：奥田聡哉 春野雅敏 楠田美佳 田中裕子 辻るみ 大塚薫 西原萌子
松崎景子 衛藤政彦 関祐子 森涼子 飯塚恵美子（敬称略）

事務局：坂本健康福祉部長 末永健康ほけん課長 田中課長補佐 大塚主幹 溝口主査
栗崎保健師

4. 欠席者

なし

5. 会議の公開・非公開の別

公開

6. 議事の要旨

- （1）開会 事務局
- （2）健康福祉部長挨拶
- （3）議事（議長＝会長）

第一号 合志市第3次健康増進・食育推進計画策定について、事務局より説明
意見等）

- ・日本の人口ピラミッドと比較すると、当自治体の人口構成は特徴的である。一般的に他の自治体では、高齢者の割合が高く、若年層の割合が低い傾向が見られる。しかし、本自治体では、若年層やこどもの世代の割合が相対的に高く、活気のある自治体といえる。このような人口構成を踏まえた計画の策定が必要であり、将来的に現在の若年層が高齢化することを見越した対策を、他の自治体とは異なる視点で進める必要があると考える。

Ｌ（回答）

- 特に若い世代やこどもの多さを踏まえ、健康意識の向上が重要と考えている。現状は健診受診率が低く、健康教育や予防的取り組みを強化していく方針である。
- ・歯科検診の受診率がなかなか向上しない点が課題である。特に、働く世代の受診率が低い傾向にある。学校における歯科検診については、すでに歯科医院で定期的に受診しているため不要と考える保護者もあり、認識のずれが見られる。このような状況を踏まえ、学校と医療機関が連携しながら、適切な歯科検診のあり方について周知を進めることが重要である。

- ・また、コロナ禍を経て、定期的に受診している方々の口腔内の健康意識が向上し、ブラッシングの技術も向上している様子が見られる。しかし、受診率の低い層への情報提供が十分に行き届いていない。口腔内の健康が全身の健康と関連する点についても、より広く周知し、検診受診率の向上につなげていく必要がある。
- ・計画の作成において、詳細な項目が盛り込まれており、関係者の尽力がうかがえる。目標数値については、過去の推移を踏まえた実現可能な範囲で設定されていることが確認できた。一方で、実現可能な目標を設定するだけでなく、他自治体との比較も行い、少し高めの目標を掲げることも検討すべきではないかと考える。
- ・計画には方向性が明確に示されており、今後はどのように具体的な事業計画を進めるかが鍵となる。目標達成に向けた実効性のある施策が求められる。
- ・菊池養生園では、集団健診を実施しており、受診率の向上に取り組んでいる。年々受診率は向上しているが、全国や県の数値と比較すると課題も見られる。特に、生活習慣病健診については、若年層の受診率が低いため、次年度の計画において改善策を講じる必要がある。
- ・また、受診率を毎年度 0.5% ずつ向上させる目標が掲げられているが、母数の変動を考慮すると、具体的に何人程度の増加を目指すのか明確にすることが重要である。そのため、集団健診においても、具体的な数値目標を設定し、対策を講じていくことが必要と考える。
- ・本自治体の 1 人あたりの医療費が全国や県と比較して高い点が課題である。その要因として、特定健診の受診率が全国平均を下回っていることが考えられる。予防医療の重要性を住民に伝え、受診率向上を図ることが求められる。
- ・また、健康管理アプリの導入が進められているが、その効果がどのように反映されているのか、今後の検証が必要である。周知方法についても、単なる情報提供ではなく、住民が身近に感じられる体験談を活用することで、より効果的な発信が可能となるのではないかと考える。

Ｌ（回答）

ご指摘の通り、受診者の結果が芳しくないことから、未受診者にも同様の傾向があると推察される。特に働く世代への啓発が難しく、説明の機会確保に課題がある。必要性の高い層への効果的なアプローチを検討していく。

- ・コロナ禍での体力低下が全国的に問題となり、特に小学校の女子の体力回復が遅れていることが課題となっている。学校では体力テストで低下が見られ、今後は部活動の地域移行を見据え、小学校と中学校の両方で取り組む必要がある。
- ・また、地域の学校運営協議会では、こどもたちの就寝時間が遅くなる傾向が指摘されており、「早寝早起き朝ごはん」の習慣を促進する必要がある。
- ・「HbA1c の有所見者」という表現は分かりやすく修正した方が良いと思う。また、男女別の割合について、データをまとめた方が分かりやすくなるのではないか。小中学生の体重の目標値、家族で野菜や果物の摂取について話す割合の目標値など、再度検討いただきたい。

Ｌ（回答）

HbA1c の現状の有所見者率は 8.6%。令和 12 年度までに 8.0% を目標に設定。

小中学生の普通体重維持率の目標を 90%とする。家族で野菜や果物の摂取について話す割合の目標値は、引き上げ方向で修正する予定である。

- ・計画の詳細な作成が重要であり、数値目標の達成には情報提供が必要だと考える。特に、働いている人々に対して分かりやすく、楽しい方法で伝えることが効果的だと思う。
- ・現代のこどもたちの睡眠時間が減少していることを懸念している。親たちがこどもを早く寝かせることが難しくなっている現状があり、親の責任を感じる場面が多いと考えている。スポーツイベントについては、年 2 回実施しているが、今後は年 4 回に増える可能性があるか確認したい。また、次回会議が 8 月までに実施される予定であるかどうか確認したい。

Ｌ（回答）

イベントについては担当課が生涯学習課となるが、現時点では 4 回の実施予定と担当から聞いている。

- ・老人クラブでは様々なスポーツ活動を行っているため、運動の数値は良いと考える。睡眠時間に関しては、自身の睡眠時間が短く、睡眠障害の可能性を感じる。
- ・健康診断のがん検診受診率が低いことに驚いた。後ほど資料を読み、改めて考えたい。
- ・食生活改善推進員協議会として、毎月健康レシピを広報に掲載し、地域住民に提供しており、好評を得ている。現在の活動人数は 40 名だが、令和 7 年度には 8 名増える予定。市民 6 万 5000 人に対応するには、70～80 名のスタッフが必要。学校や地域、高齢者サロンでの健康食育指導が増加しており、依頼も多い。
- ・西合志中学校での郷土料理教室に参加し、生徒たちの積極性や礼儀正しさに感銘を受けた。今後も地域での食育活動を継続していきたい。
- ・高校生の食事状況について懸念。家庭での手作り弁当が減少し、市販品が多い現状。朝の見守り活動では、挨拶に元気がないとすることがある。

第二号 その他について、特になし。

- | | |
|----------|-----|
| (4) 事務連絡 | 事務局 |
| (5) 閉会 | 事務局 |